

いつも聞こえるみんなの声

タウンメール

町のみんなのコミュニケーション

あなたの町政に対する

意見・要望・質問やさまざまな情報をお寄せください

まちづくり政策調整係では、みなさんの声を広く町政に反映させる公聴活動として「タウンメール」を実施しています。

この「タウンメール」は、町民のみなさんの町政に対するご意見・ご要望・ご質問などを記入していただき、最寄りの郵便ポストへ投函していただくというものです。

地域づくりや町づくりなどに関する意見・要望のほか、行政への疑問や情報提供など、あなたが知りたいことや知らせたいことも大歓迎です。お気軽にあなたの声をお聞かせください。みなさんの声が明日の弟子屈町をつくれます。

寄せられた声に対しての回答は広報紙への掲載、または、ご本人へ直接通知します。回答につきましては封書を投函していただいた時期により、翌々月の広報紙に掲載となる場合もあるほか、内容によっては回答しかねる場合もありますのでご了承ください。

また、匿名の方についての回答は、いたしかねます。

記入の仕方

- * 町づくりなどに関するご意見・ご要望のほか、行政への疑問や情報提供などのあなたが知りたいことや知らせたいことも、ご自由にお書きください。
- * 誹謗(ひぼう)中傷や営利を目的とした内容はご遠慮願います。
- * 封書は点線にそって切り、折ってノリ付けし、切手を貼らずにそのままポストへご投函ください。
- * この封書の差出有効期限は平成28年3月31日ですので、それまでにご投函ください。
- * 内容によってはこちらから内容確認を行うことや、直接回答を行う場合がありますので、住所・氏名・性別・年齢・電話番号は必ず記入してください。なお、広報紙に掲載する場合は公表いたしません。

◆お問い合わせ先/役場まちづくり政策調整係 ☎482-2913(課直通)

あなたの声をお気軽に寄ってください

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

いつも聞こえるみんなの声 タウンメール

住所			性別	男	女
お名前			性別		
電話番号					
年齢					



図書館だより

中央2丁目4番1号
☎(よいほんいろいろ) 482-1616

☆「教科書展示会」を開催

町内各学校で使用されている教科書の展示会を開催します。ぜひ、ご来館ください。

展示会は、皆さんに教科書に対する理解や関心を深めていただくために、毎年開催しています。

なお、教科書の貸し出しはできませんのでご了承ください。

▼企画/町教育委員会管理課 学校教養係

▼期間/6月19日(金)～7月2日(木)

▼場所/図書館内展示コーナー

★連絡先が変わったときはお知らせください
図書館に登録してある連絡先(住所・電話番号など)が変更となった場合は、更新の手続きをお願いします。

▼今月の休館日/1日(月)・8日(月)・15日(月)・22日(月)・29日(月)

新刊案内

6度目の大絶滅

エリザベス・コルバート/著



地球上ではこれまで5度の大量絶滅が起きている。そして現在、毎年4万もの生物種が姿を消している。このままでは、2050年には種の半分が消えてしまうかもしれない…。人類文明の繁栄を極めた矢先の生命の衰退。今、世界各地で何が起きているのか。

おすすめの新聞

「仔猫の肉球」

雨宮 処凛/著

「過ぎ去りし王国の城」

宮部みゆき/著

「へんな論文」

サンキュータツオ/著

「北海道体験ファームまるわかりガイド」

片岡れいこ/著

「ネイチャーエデュケーション」

長谷部雅一/著

「サイエンス・ブック・トラベル」

山本 貴光/編

「あかりの魔法」

村角千亜希/著

「有機・無農薬で家庭菜園」

阿部 豊/著

「思春期」

小手鞠るい/著

「やみくもにやみくもにやみくもに」

宮西 達也/作

たくさんのお新刊が皆さんをお待ちしています！

アイヌの自然 視 温泉

「ヌ」と「ユ」と「セセキ」

「ヌ」は地下から湧き出す高温の温泉のこと。

仁伏のポンポン山は「ポン(小さい)ポック(湧く)ヌ(温泉)」が語源ともいわれます。

「ユ」はぬるま湯で、夏は入浴できても冬は難しいところ。

「セセキ」は熱泉を意味しているものの「ヌ」とは違うとか。

樹皮から衣服を作っていたアイヌは、木の皮を柔らかくするため温泉に浸しました。湯治では入浴衣を着用。どんなときも温泉の神に祈りを捧げてから利用したそうです。

【参考文献】カムイの言霊/チカブ美恵子 著



地震計はEMCにも…体験してみませんか

EMC通信

～川湯の森から～

日本は火山国であり、地震国です。道内には、気象庁が常時観測している火山が9つあり、そのうちの1つが川湯にあるアトサヌプリ(硫黄山)です。地震計やGNSS(衛星測位システム)、遠望カメラなどが設置され、24時間監視されています。4月の時点では特段の変化なしという結果が出ています。

活火山アトサヌプリと上手に付き合おう

避けられないからこそ、恐れず、ばかりでなく、うまく付き合っていきたいです。と、それは言うものの、川湯EMCを含め、アトサヌプリ周辺で生活する人々には少々悩みがあります。目に見えない硫黄成分は空気中にも漂い「サビ」という形で出現します。困ったことに、精密機器や電化製品、車などをとくに好むようです。それでも、硫黄のにおいには「川湯だな」と感じます。には日によって強弱があり、風向きや天候の変化を察知することもできます。温泉の効果は絶大です。まもなく開花するインツツジが山麓を埋め尽くす景観は、アトサヌプリの存在なくしては見られません。森林浴と入浴を楽しみながら、アトサヌプリの魅力を探してみたいですね。

川湯エコミュージアムセンター(EMC) ☎483-4100

URL http://www6.marimo.or.jp/k_emc/ 8:00～17:00開館(毎週水曜日休館)